

令和4年度 杉並区立堀之内小学校経営計画

杉並区の教育ビジョン2022

みんなのしあわせを創る杉並の教育

「社会に開かれた教育課程」及び「杉並区教育ビジョン2022」を具現化するために、学校・保護者・地域が一体となって連携・協働し、心身共に健康で主体的に生きる児童の育成、及びみんなのしあわせを創る杉並の教育の具現化を図ります。

堀之内小学校の教育目標

◎自ら考える子ども ○たくましい子ども ○心ゆたかな子ども

互いを尊重し、支え合いながら

主体的で豊かな学びを創造する子が育つ学校

すべての基本としたいこと

【子供が主役】 **子供の思いを大切に**し、子供の主体性が育つ学校

【大事なものはどう学ぶか】 結果だけでなく、**過程での子供の学びや成長を大切に**する学校

【あたたかい人間関係の構築】 **違いを認め**、他者を尊重し、**思いやりの心**を大切に

【**他者意識・コミュニケーションの基本**】 大人も子供も自ら進んで**あいさつを交わし合える学校**

学校として、

変わってはいけないこと、変わらなくてはいけないことをしっかり見極め、

進化し続けながら、「みんなのしあわせを創る杉並の教育」の具現化のために、

豊かな学びを創造する学校づくりを進めていきます。

★withコロナ、afterコロナを見据えた新しい学校生活

- ・マスクの着用、密を避ける工夫など、子供たちの安全・安心のために新しい学校生活様式の徹底を図ります。
- ・従来の方法にこだわらず、子供たちとともに新たな取組や工夫を考えながら、全ての子が学校生活を楽しいと感じられるよう努めていきます。

☆学校目標を達成するための基本方針と手だて

(1) 主体的で豊かな学びの創造

- ◎どの教科においても個の学びを大切に、誰もが主体的・意欲的に参加できる学習をめざします。
- 基礎・基本の確実な定着を図りながら、子供が自ら課題をもって主体的に追究することを通して、思考力、言語力の向上を図る教育を進めます。

【そのために】

○教師が教える授業から、子供が学ぶ授業への転換

- ・これまでの指導観・授業観からの教師の意識改革を一層進めます。
みんな一緒からマイスタート・マイゴールへ
- ・教師の役割を見直し、個々の学びの過程を見取り、適切に評価し、子供一人一人の主体的な学びを支える指導や助言をします。

○豊かな学びを支える ICT の効果的な活用

- ・個別最適な学びを支えるツールのひとつとしてタブレット PC を有効活用します。
- ・学び方の幅を広げ、思考を支えるツールとして、さらには個々の考えを共有するツールとして ICT の活用を進め、深い学び、対話的な学びを推進します。
- ・意見を交流し、協働的な学びを進めるためのツールとして有効活用をします。

○個々の状況に応じた学びの保証

- ・タブレット PC の活用による個別最適な学びの具現化によって、個々の学び残しの状況や個々の課題に応じた学びを推進します。
- ・算数科ではレディネステストなどの客観資料による少人数のグループ分けなど、子供の実態に応じた指導ができる体制を整えとともに、個々の学力をさらに伸ばせるよう AI ドリルなどの活用を図ります。

○カリキュラムマネジメントの推進

- ・各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえ教科横断的に進めます。
- ・教育内容の質の向上に向けて・・・PDCAサイクルを確立します。
- ・教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源などを地域等の外部資源を効果的に活用します。

○小中一貫教育の推進

- ・互いの授業を見合い、その後の意見交流などを通して相互理解を一層深めていきます。
- ・学校や地域の行事での協働を小中関係各校との連携を更に深めると共に、「協働」の展開につながるよう、各教科の系統性の重視や学びの連続性を確保することで、より質の高い小中一貫教育を進めます。

○幼保小連携の推進

- ・スタートカリキュラムを充実させ、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を一層推進します。

(2) やさしさと思いやりの心の醸成

◎大切にしたい4つの“あ” 「愛情」「安全・安心」「あいさつ」「ありがとう」

愛情、優しさや思いやりあふれる関わりができる、安全に気を付け、互いに助け合いながら安心して学校生活が送れる、気持ちのよいあいさつができる、ありがとう、感謝の気持ちを忘れずにいる学校づくりを目指します。

○インクルーシブ教育の推進

偏見や差別の心をなくし、誰にでも誰とでも同じように接することができる子が育つよう体験を重視した学習活動を計画的に進めます。

○子供一人一人のかけがえのない命を大切にするとともに、人・もの・自然とのふれあいを通して、自他の命の大切さを考え、他を思いやり、他を尊重し、自己有用感をもてる子が育つ教育を進めます。

【そのために】

○「対話」と「協働」を意識した取り組み

- ・温かい人間関係を築くために様々な場面で「対話」と「協働」を意識した取組を進めます。
- ・他を思いやる心などが育つように、異年齢集団での「協働」を充実させます。
- ・地域の行事などの機会も積極的に活用し、様々な人との交流を大切にします。

○自他を大切にする教育の推進

- ・人権尊重の理念の下、いじめ・不登校〇をめざし、自分も他の人も大切にできる子が育つ取組を進めます。

○一人一人を大切に作る

- ・多様性を受け入れ、自他の違いを認め、個性を尊重し合える子供が育つ教育を進めます。
- ・特別支援教育を推進する中で、一人一人の個性を尊重しようとする学校風土を築きます。

○道徳の時間の充実

- ・自己の生き方を考え、自己の生き方の指針をもてる子が育つ道徳教育を進めます。
- ・道徳の時間を軸として、道徳性を養いながら友達を大切に力を合わせて活動できる子が育ち、いじめなどのない思いやりあふれる学校づくりを進めます。

(3) 心と体の健康の増進

◎体を動かすことの楽しさを伝え、実感させながら運動を習慣化していくとともに、食事や睡眠などの生活習慣と健康な体との関係や心と体の関係などを考えさせながら、自らの健康に関心をもって、その増進に努める子を育てます。

【そのために】

○運動の日常化

- ・新型コロナウイルスの感染防止策を講じながら、運動の日常化につながる運動遊びの紹介などの新たなチャレンジを進めます。
- ・毎月の体力向上週間での取組を通して、体を動かすことの楽しさを味わわせ、体力の向上を図ります。

○**体育科の授業の充実**

- ・週3回ある体育科の授業を貴重な運動の機会と捉えて、**授業の工夫と改善**を進めます。
- ・十分な**運動量を確保**し、友達と協力し合いながら運動をする楽しさを十分に味わわせながら、運動の大切さや運動し続けることの大切さを学ばせていきます。

○**オリンピック・パラリンピックのレガシー**

- ・グローバル社会に対応できる豊かな国際感覚を養う教育を進めます。
- ・パラ種目などへの理解を深め、多様性を尊重する心が育つ取り組みを進めます。
- ・運動への興味・関心を高めるためアスリートとの交流などを進めていきます。

○**健康教育を充実させます**

- ・給食の時間や家庭科の学習とリンクさせた**食育の充実**、保健指導とも関連付けながら**健康教育の充実**を進めていきます。

○**心の健康を大切にします**

- ・教師と子供、また子供同士が良好な関係を築き、悩みや困ったことなど一人で抱え込まず、**誰にでも話せる学校づくり**を進めます。
- ・S Cなどと連携し、様々な子供の悩みなどへ対応できる相談体制を整えます。

(4) **家庭・地域とともに歩む**

◎「**家庭・地域・学校のつながりを重視した、共に支える教育**」を進めていきます。

★新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じながら、状況に応じて工夫して活動していきます。

【そのために】

○**家庭・地域に開かれた学校づくり**

- ・地域に開かれた学校、家庭・地域と信頼関係で結びついた学校、**地域と協働し地域とともに歩む学校づくり**を進めます。
- ・**90周年を契機**に堀之内小学校小の**地域の中での役割**を考え、その役割を一層充実させるよう努めます。

○**地域を生かした教育・地域との協働の推進**

- ・地域の人々、施設、自然や文化との関わり合いを大切にし、**地域の教育力を生かした学習活動の工夫**を進めます。
- ・学校運営協議会、学校支援本部との連携を一層充実させ、子供達が安全に安心して通える学校づくりを進めます。

○**家庭・地域への発信**

- ・開かれた学校を目指して保護者・地域への情報発信・収集を積極的に行っていきます。
- ・Forms、Share Point 等の新たなアプリの活用を推進

(5) 力のある教師が育つ学校

◎教師自身が心も体も健康で、学び続け、進化し続けます。

【そのために】

○指導力の向上を図ります

- ・様々な機会を生かして、教師自らが互いに学び合います。
- ・主体的・対話的で深い学びを支えるための教師の指導観の意識改革を図ります。
- ・子供達の確かな学力を保证するため、教材研究の充実に努めます。
- ・校内研究にとどまらず、内外の研究会、研修会から学び、指導力の向上に取り組みます。
- ・現状に甘んじることなく、常に学ぼうとする姿勢をもち続けます。

○プロとして

- ・教師の**話術を磨きます**。(話は短く、指示は明確・的確に)
- ・子供をよく見て、よく話を聞いて、児童理解に努めます。
- ・「見逃さない」「見落とさない」**指導**を心がけます。
- ・いじめや不登校の早期発見、未然防止のために子供の小さな変化も見逃しません。

○教師の心と体も健康に

- ・ライフ・ワーク・バランスに**配慮**し、組織を生かした取り組みにより個人の負担を軽減するなど働き方改革の推進を図り、教師自身が子供達の前でいつも心も体も健康でいられる環境を整えます。

短期的経営目標と具体的方策・・・今年度の重点

☆【主体的で豊かな学びを創造する学校】を目ざす(意識の転換最終年)

(1) 学力と体力の向上

◎主体的・対話的学びの推進

自ら課題をもち、その解決のための学びを自分、或いは仲間と進めていく学びへ子供も教師も意識を変えていきます。

- 子供の主体的な活動をベースにした学校行事の試行
- プログラミング教育の推進
- 毎月の体力向上週間の取組の推進や体育集会の内容の工夫を通して、運動への興味や関心を高め、運動の日常化を図ります。

(2) 自己肯定感・自己有用感の醸成

○ペースとなる学校生活の安定 規範意識を高め、安心・安全な学校づくりを進めます

◎温かい人間関係の構築

他を尊重し、思いやりの心を大切に、豊かで温かな人間関係をはぐくみます。

◎他者意識を高めます 「あいさつ」「時間を守る」ことの徹底と定着を図ります。

○特別支援教育に関する理解を深める

正しい知識を学び、教員の資質向上を図ります。

○インクルーシブ教育の推進

スクールカウンセラー、学習支援教員との連携を図り、配慮を要する児童への指導についての共通理解を図ります。